

震災等対策委員会だより

No. 1

会長 尾崎 祐三

EE

震災等対策委員会を設置しました！

FF

このたびの東北地方太平洋沖地震・津波で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

東北地方太平洋沖地震による災害へのお見舞い等について、全特長としては、下記の文書を各県に送付し、取り組みを始めたところです。

教育関係の方々におかれましては、よろしくご理解のほど、お願い申し上げます。

平成23年3月24日

副会長・理事様
評議員・事務局員様

全国特別支援学校長会
会長 尾崎 祐三

東北地方太平洋沖地震による災害へのお見舞い等について

この度の東北地方太平洋沖地震及び大津波により、多くの方々が亡くなられたり行方不明になられたりしております。また、多くの家屋等が損壊するなど避難を余儀なくされています。

ここに亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、被災者を受け入れておられる学校をはじめとする関係者に、敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

このことについて、本日3月24日に臨時事務局会を開催し、本会としての対応を、下記のようにさせていただきました。

各都道府県校長会におかれましては、ご理解並びにご高配くださいますようお願い申し上げます。

記

1 全特長としての対応

- (1) 特別委員会として震災等対策委員会（仮称）を設置し（会則第16条による）復興支援の対応に当たる。
- (2) 被害甚大な県の特別支援学校に見舞金を過去の慣例にとらわれず、本会の通常会計又は特別会計から、拠出する。
- (3) 各都道府県特別支援学校長会見舞金・義援金等を拠出する場合は、拠出方法、送金先等については各特別支援学校長会の判断による。
- (4) 障害種別の校長会が見舞金・義援金等を拠出する場合は、拠出方法、送金先等については障害種別の校長会の判断による。

2 各学校としての対応

- (1) 被災者が自校に就学を希望してきた場合には、教育委員会と連携しながら、就学先に指定された特別支援学校は積極的に受け入れるよう努める。
- (2) 教育委員会と連携して、教職員による被災地でのボランティア活動がしやすい条件づくりを行う。

文部科学省からの情報提供

<文部科学省初等中等教育局特別支援教育課企画調査係より>

文部科学省では、各都道府県の放射能水準の調査結果を公表いたしました。

☆都道府県別環境放射能水準調査結果

http://www.mext.go.jp/a_menu/saigai_johou/index.htm

※アクセスの集中を防ぐため、文部科学省ホームページほか、下記にも情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

<http://eq.yahoo.co.jp/>

<http://eq.sakura.ne.jp/>

<http://eq.wide.ad.jp/>

※本データは毎日2回更新されます。

教育現場におかれましては、調査結果と添付しております「日常生活と放射線」をご確認いただき、各学校において冷静な対応を取られるようお願いいたします。

なお、「日常生活と放射線」に記載されている通り、微量の放射性物質が原因で、一般の方の健康に影響をもたらすことはありません。

現在、文部科学省では、教育委員会等の関係機関に対して、上記趣旨を周知する事務連絡を準備しているところです。事務連絡を発出しましたら、改めて御連絡申し上げますが、取り急ぎ、各会員に対し、上記HP及び添付ファイルにつきまして十分な周知いただくようお願いいたします。

@@

現在（3月24日）、文部科学省特別支援教育課（酒井課長補佐）から、本会に提供のあった特別支援学校における情報は以下の内容です。

- 1、人的被害：公立特別支援学校幼児児童生徒の死者及び負傷者が13名。
- 2、施設損壊：学校施設の全半壊、水没、地盤沈下等
公立129施設、私立2施設。
- 3、避難所開設：特別支援学校7校。
- 4、対応：休校。公立56校。私立1校。

<予想される支援内容>

政府：①人命救助②復興（教科書、奨学金、心のケア、公立共済、職務専念義務免除、その他（臨床心理士会に協力要請中）